

### 新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が拡大した。  
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	金属製品、木材・木製品、紙・パルプ、窯業・土石製品、繊維	設備投資需要の持ち直し 外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直し 住宅需要の持ち直し
	悪化	はん用・生産用・業務用機械、電気機械、食料品、輸送用機械	部品調達難などの供給制約 コストアップによる利幅縮小 巣ごもり消費の一服
非製造業	改善	運輸・郵便、鉱業・採石業・砂利採取業、対個人サービス	荷動きの増加 設備投資需要の持ち直し 外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直し
	悪化	建設、小売、物品賃貸、情報通信	公共工事関連受注の減少 コストアップによる利幅縮小 自社製品・サービスの販売鈍化

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。  
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2021年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高は上方修正となった一方、経常利益は下方修正となった。  
—— 経常利益について、製造業では、堅調なデジタル関連需要や設備投資需要の持ち直しなどから、増益計画となっている。非製造業では、コストアップによる利幅縮小や工事受注の減少などから、減益計画となっている。  
—— 経常利益を前回調査対比でみると、製造業では、コストアップによる利幅縮小や供給制約を背景とした受注の減少などから、下方修正となった。非製造業では、外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直しなどから、上方修正となった。

- 2021年度の設備投資は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、下方修正となった。
  - 製造業では、需要が好調な製品の能増投資や前年度からの投資計画の後ずれなどから、前年を上回る計画である。非製造業では、前年度の大規模投資の反動などから、前年を下回る計画である。
  - 前回調査対比でみると、製造業、非製造業ともに、不急の投資計画の先送りなどから、下方修正となった。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D.I.、仕入価格判断D.I.は、「上昇」超幅が拡大した。
- 雇用人員判断D.I.は、「不足」超幅が拡大した。
- 資金繰り判断D.I.は、「楽である」超幅が縮小した。貸出態度判断D.I.は、「緩い」超幅が小幅に拡大した。借入金利水準判断D.I.は、前回調査並みの「低下」超となった。

以 上